

ハリウッドが認めた動画生成AI 「Runway」は映画に革命を起こすのか？

22161380 小林 龍生

Runwayの動画生成AI「Gen-4」とは？

- ▶ テキストや画像から高品質な動画を生成する能力を持ち、特に「世界の一貫性 (World Consistency)」の実現に重点がおかれた動画生成AI

Runway（ランウェイ）がリリースした 動画生成AI「Gen-4」

- ▶映像制作会社 Fabula

2018年のアカデミー賞作品「ナチュラルウーマン」を制作した会

- ▶ 米国映画大手 ライオンズゲート

ラ・ラ・ランド、デイ・アフター・トゥモローなど

動画生成AIの欠点（1）

- ▶ 一貫性の欠如

『トムとジェリー』の1940年代に制作された約7時間分の映像で訓練したAIで、新たに複数の60秒間のアニメを生成するという実験が行われた



結果は、AIが作った動画は場面が切り替わった場合に、光の状態や部屋、風景の変化を、自然に表現できない

- ▶ AIは創作や映画制作のハードルを下げるかもしれないが、中身のない二番煎じの作品を大量に生み出す

コメント

- ▶ ハリウッドの大手制作会社も導入を進めているとのことで、映画制作の現場が大きく変わろうとしているのを感じます。キャラクターの一貫性やシーンの整合性が向上している点は、実用化に向けた大きな前進と言えるでしょう。制作のハードルが下がり、新たな才能が活躍する機会が増えることにも期待したいです。

しかし、記事が指摘するように、「意味のある物語を生み出せるか」という課題は、まさに現在の生成AIが抱える本質的な問題点ですよね。また、「一貫性の欠如」も、まだ克服すべき技術的な壁として存在しています。

感想

- ▶ 近い将来、生成AIだけを使った映画、アニメ、ドラマなどが人気になる可能性があり、楽しみです。
- ▶ 生成AIがさらに進化したら、映画などのワンシーンで、爆破や水没などのコストのかかるシーンを差し替えすることで、コスト削減に繋がりそう